保存版

尼崎市総合計画

平成30～34年度

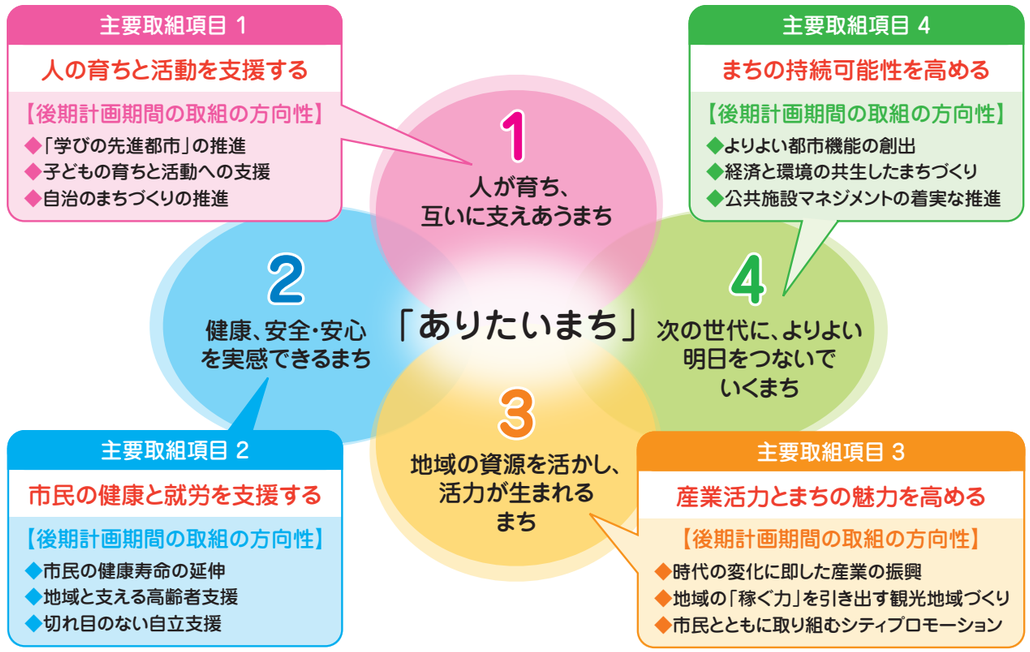
後期まちづくり基本計画 始動!!

“ひと咲き まち咲き あまがさき”をめざして

尼崎市総合計画は“ひと咲き まち咲き あまがさき”をキャッチフレーズとする、本市の最上位計画です。

この度策定した平成30年度から始まる、今後5年間のまちづくりの取組を示す「後期まちづくり基本計画」には、総合計画に掲げる4つの「ありたいまち」の実現のため、計画期間中に、さまざまな施策を連携させながら「主要取組項目」として特に重点的に推進する項目を記載しています。

あまがさきで、人々が、まちが、花を咲かせ、実を結び、種を残し、また次の花を咲かせていくことをめざして、取組を推進していきます。



それぞれの主な具体的取組は、中面をご覧ください。

まちの通信簿

総合計画に掲げる4つの「ありたいまち」の実現に向けて、どれだけ進んでいるのか、などを市民の皆さんにわかりやすくお伝えできるよう、後期まちづくり基本計画などの進捗状況を測る指標を抜粋し、「まちの通信簿」として、毎年度、市ホームページなどに掲載していきます。⇒ 裏面をご覧ください。

そもそも「尼崎市総合計画」って!? 「ありたいまち」って!?

「尼崎市総合計画」は、本市が市民や事業者の皆様とともにめざす「ありたいまち」の姿と「まちづくりの進め方」を一定期間変わることのない基本的なまちづくりの方向性として示す10年間の「まちづくり構想」と、その「ありたいまち」の実現に向けて取り組んでいくための分野ごとの方向性を示す5年間の「まちづくり基本計画（前期・後期）」で構成される、まちづくりの羅針盤ともいえる本市の最上位の行政計画です。

「ありたいまち」とは、総合計画に掲げるめざすべき本市の将来像です。本市では、その将来像として「あるべきまち」ではなく、誰もが共感できる「ありたいまち」を掲げ、市民や事業者の皆様とともに、その「ありたいまち」の実現に向けてまちづくりを進めています。

まちの通信簿

ひと咲き まち咲き あまがさき

総合的なまちづくり

このまちに「住み続けたい」「住んでみたい」と市内外の人に選んでもらえるよう、総合計画に掲げる4つの「ありたいまち」の実現をめざし、課題解決に向けた取組を推進するとともに、それらを戦略的・効果的に発信し、市民のまちに対する「誇り」や「愛着」を醸成していきます。そういったまちづくりの進捗を測る指標として、「あまがさきで子どもを育てる人」の増加と「まちのことを想い、活動する人」の増加をめざします。

あまがさきで子どもを育てる人を増やす

ファミリー世帯の転出超過傾向は、本市の最重要課題の1つです。その原因である教育や治安・マナーの向上などに取り組み、まずはその超過世帯数の半減をめざします。

■ファミリー世帯の転出超過数

基準値 △382世帯（H26） → 目標値 △191世帯（H31）

まちのことを想い、活動する人

今後のまちづくりには、自分もまちの一員としてまちづくりに参画する人、また、その活動を伝える人、その活動に感謝する人を増やすことが重要です。まちに「誇り」と「愛着」を感じ、「まちのことを想い、活動する人」があふれるまちをめざします。

■市民参画指数

基準値 39.0（H29） → 目標値 50.6（H34）

「尼崎の魅力を誰かに勧めたい」「地域活動に参加したい」「地域の支え手へ感謝したい」という想いをお伺いし、その結果を総合的に数値化したものです。

4つの「ありたいまち」に向けた主要取組項目

観点		説明	基準値（H28）	目標値（H34）
①人の育ちと活動を支援する　～「人が育ち、互いに支えあうまち」に向けて～				
	子どもたちの学力を伸ばしたい	家庭学習の習慣化などに取り組み、全国学力・学習状況調査における平均正答率の全国との比較において、あまがさきの子どもの学力が全国平均を超えることをめざします。	小6　△1～△3 中3　0～△4	全国平均以上
	地域活動を活発にしたい	市民等の主体的な学習や活動を支援することで市民等がさまざまな地域の活動に参加し、身近な地域の魅力を高めていくこと（市民意識調査で「地域活動に参加している」と回答する割合）をめざします。	24.1%	30.0%
②市民の健康と就労を支援する　～「健康、安全・安心を実感できるまち」に向けて～				
	健康寿命を延ばしたい	生活習慣病予防などに取り組み、市民が自立して日常生活を送れる期間（健康寿命）の延伸をめざします。	男性　77.68歳 女性　82.68歳 （H27）	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加
	「生きがい」を持って暮らす高齢者を増やしたい	介護予防などの取組により、身体の健康維持に加え、「生きがい」を持ち社会とのかかわりを持って生活する高齢者（市民意識調査で「生きがいを感じることがある」と回答する割合）を増やします。	64.0%	75.9%
③産業活力とまちの魅力を高める　～「地域の資源を活かし、活力が生まれるまち」に向けて～				
	まちに訪れる人を増やしたい	尼崎城再建を契機にした、地域一体となった「観光地域づくり」の取組により、イベントや観光等でまちに訪れる人を増やします。	240万人	280万人
	まちのイメージを良くしたい	戦略的にまちの魅力を発信し、都市のイメージ向上（市民意識調査で「尼崎市のイメージが良くなった」と回答する割合）をめざします。	42.6%	66.0%
④まちの持続可能性を高める　～「次の世代に、よりよい明日をつないでいくまち」に向けて～				
	二酸化炭素排出量を減らしたい	公共交通機関の積極利用やごみの削減など、誰もが実施できる取組の推進により、市内の二酸化炭素の排出量（民生家庭・業務部門）を減らします。	1,132千t（H27）	746千t（H32）
	快適に暮らせるまちにしたい	安心して暮らせる住環境の確保に取り組み、暮らしやすいと実感している人（市民意識調査で「現在の住環境が暮らしやすい」と回答する割合）を増やします。	83.5%	90.0%

財政状況

観点		説明	基準値（H28）	目標値（H34）
持続可能な行財政基盤の確立				
	収支を黒字にできている	市の貯金である基金を取り崩すことなく毎年度収支均衡を確保できるよう、更なる構造改善に取り組みます。	△24.3億円	収支均衡
	借金を減らせている	必要な未来への投資と将来の負担のバランスを取りながら、着実に将来負担の抑制を進めます。	1,590億円	1,100億円以下

もっと詳しく総合計画について知りたい方は、市ホームページをご覧ください。

後期まちづくり基本計画　検索　ID 1009530

ひと咲き まち咲き あまがさき

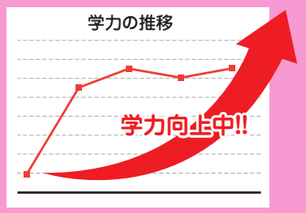
発行
尼崎市 企画財政局 政策部 政策課
〒660-8501 尼崎市東七松町1-23-1
TEL.06-6489-6138　FAX.06-6489-6793

“ひと咲き まち咲き あまがさき”をめざす後期計画5年間のまちづくり

1 人の育ちと活動を支援する

「学びの先進都市」の推進！

「尼崎の学力は低い」と思われていたのは過去のハナシ。
現在はほぼ全国平均です。さらなる向上をめざします。



学力を始めとする様々なデータから、科学的根拠に基づく先進的な教育政策の研究実施は、兵庫県で初！

子どもの育ちと活動への支援！

子どもの育成に関する支援の拠点施設を整備し、何らかの課題を抱える子どもや子育て家庭からの相談にも対応します。
また、保育施設や児童ホームの受入れ枠を拡大し、待機児童ゼロをめざして取組を推進します。

全国トップクラスの保育施設数（1㎢あたり）
阪神間第1位！ ※平成29年4月1日時点

小学校の敷地内で児童ホーム・こどもクラブを毎日実施（日祝等除く）しているのは
中核市で唯一！※平成29年4月1日時点

地域振興体制の再構築

自治のまちづくりの推進!

自治のまちづくりに向けて、職員が地域に根差し、地域とともにまちづくりを担います!

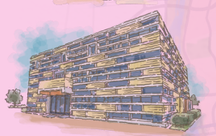
みんなの尼崎大学 誰もが参加できる魅力的な学びの機会を創ります！

あまがさき ひと咲きプラザ

旧大学施設を活用し、整備を進めているあまがさき・ひと咲きプラザには、教育、子どもの育ち、青少年の活動、地域の学びを支援する施設が集結！

ひと咲きタワー（学びと育ち研究所、教育総合センター）

子どもの育ち支援センター
H31年度開設予定



ユース交流センター
H31年度開設予定

連携

2 市民の健康と就労を支援する

切れ目のない自立支援！

暮らしに困っている人々の課題解決には、保健・福祉の連携強化が重要です。保健福祉センター（南北）の設置により、保健・福祉の総合的な支援が可能に！また、あまがさき・ひと咲きプラザに開設予定の子どもの育ち支援センターとも連携し、保健・福祉の切れ目のない相談支援体制を構築します。

これまで課題の多かった乳幼児健診の会場が劇的に改善されました！プライバシーに配慮した診察室や個別指導室を整備。付添い待合室やベビーカー置場も！

市民の健康寿命の延伸！ 地域と支える高齢者支援！

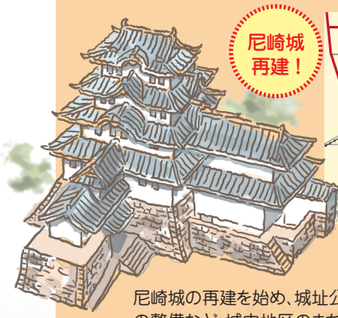
平成30年6月 たばこ対策推進条例制定予定

ヘルスアップ尼崎戦略を展開し、施策を連携してライフステージに応じた生活習慣病予防に引き続き取り組みます。
また、高齢者が住み慣れた場で、自分らしい生活を続けられるよう、地域とともに高齢者を支えるまちをめざします。

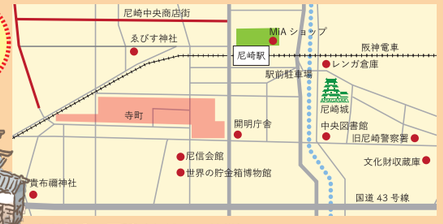
3 産業活力とまちの魅力を高める

地域の「稼ぐ力」を引き出す観光地域づくり！

地域資源を活かした観光振興を地域一体で進め、マーケティングやプロモーションなど観光地域づくりの取組を推進します。



尼崎城再建！



尼崎城の再建（内部展示整備）
H30年秋 竣工（寄贈）、H31年3月一般公開（予定）

尼崎城の再建を始め、城址公園や歴史館機能（博物館）の整備など、城内地区のまちづくりが進んでいます。

ID 1002086

城址公園の整備
H30年度

公開空地の整備
H32年度予定

歴史館機能の整備
H32年秋
公開予定

時代の変化に即した産業の振興！

地域経済の好循環をめざし、産業関係団体や地域金融機関とも連携を図りながら、創業支援や人材育成に取り組みます。

市民とともに取り組むシティプロモーション！

平成29年3月に開設した、定住・転入促進情報発信サイト「尼ノ國」を通じて、市民とともに本市の魅力を戦略的・効果的に発信し、市外の人からも「選ばれるまち」をめざします。

4 まちの持続可能性を高める

都市課題を都市魅力に！

よりよい都市機能の創出！

自転車や空家など、これまで「都市課題」だったものを、「都市魅力」に転換していきます。

自転車の盗難防止対策、自転車事故マップ更新といった交通安全の取組、自転車道の整備など、より快適に自転車が利用できるよう自転車のまちづくりを推進します。

空家の増加抑制だけでなく、定住・転入の促進につながるよう空家の利活用にも取り組みます。

経済と環境の共生したまちづくり！

尼崎市は、平成25年に環境モデル都市として国から選定され、低炭素社会の実現に向けて取組を進めています。

環境モデル都市 あまがさき

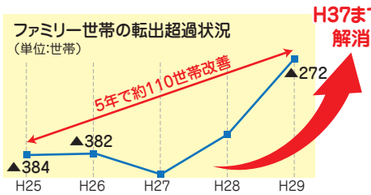
公共施設マネジメントの着実な推進！

今後、更新の時期を迎える公共施設全体に対し、中長期的視点で身の丈にあった施設保有量・施設規模となるよう、質・量・運営コストの最適化をめざした公共施設マネジメントに取り組みます。

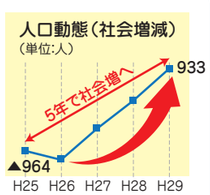
ファミリー世帯の定住・転入促進に向けて

転入者増加中！

ここ5年間で、尼崎市への転入者がどんどん増加しています。それに伴い、本市が課題としているファミリー世帯の転出超過傾向も改善されつつあります。引き続き、本市の最重要課題の1つである「ファミリー世帯の定住・転入促進」に向けて、各種取組を推進していきます。



転出者と転入者の差による人口の増減を社会増減と言います。ここ5年で、尼崎市は社会増に転じています。



ID 番号を本市ホームページのID検索窓に入力すると、より詳しい情報にすばやくアクセスできます。